

## 秩父三十四ヶ所札所めぐり～第1回 1番：四萬部寺～8番：西善寺

開催日：2022年6月6日(月)

秩父札所のおこりは文暦元年(1234 鎌倉時代中期)と伝えられています。長享二年(1488 室町時代中期)には秩父札所番付が実在することから秩父札所が定着していたと考えられます。ただ当時の札所は三十三カ所で、札所の順番も現在とは異なっていたようです。長野県佐久市にある石碑から大永五年(1525 室町時代後期)には現札所二番の真福寺も含め秩父三十四カ所となり、西国三十三、坂東三十三と合わせ日本百観音と数えられてきたようです。

江戸時代までには四萬部寺を一番として始める現在の番付に改められ、点在する札所を結び江戸方面からの巡礼がしやすいよう巡礼道が整備されたようです。秩父札所は江戸からも近くまた全ての札所が秩父内(武蔵の国秩父郡)にあり、二十五里ほどで全てを巡ることができることから江戸時代元禄年間には江戸の庶民の秩父巡礼が盛んになりました。ちなみに西国は一巡約二百五十里、坂東は一巡約三百里で、庶民が巡るにはかなりハードルが高かったと思います。

江戸巡礼古道を使い秩父三十四札所を巡るウオークの第一回目です、札所1番の四萬部寺を出発し札所8番の西善寺あたりをゴールの目標にしますが、帰りの時間を優先し4時から4時半頃秩父を出発します。1番から2番の真福寺まで距離2.3Km、標高差170mの上り、3番の常泉寺までが距離3Kmのちょっと急な下りの山道でこの回の唯一の難所です。あとは街中歩きですが、こんなところが江戸巡礼古道?と思うような人家の庭先や狭い路地があつたり、結構楽しめます。

- ・コース： 四萬部寺 → 真福寺 → 常泉寺 → 金昌寺 → 五歌堂 → 卜雲寺 → 法長寺  
→ 西善寺

トイレは各札所とコース上にいくつかあります。昼食場所は未定です、ゴールの札所は進行状況により前後します。

- ・距離：約12km
- ・集合：平田家住宅前駐車場 7：00 甲府駅北口 7：50 道の駅花かげの郷まきおか 8：30
- ・解散：道の駅花かげの郷まきおか 18：20頃 甲府駅北口 19：00頃 平田家住宅前 20：00頃
- ・参加費：会員 500円 一般 1,000円 バス代 会員 5,000円 一般 5,500円 (バス代は参加者数等により増減の可能性あります)

- ・持ち物：弁当、飲み物、雨具、ウォーキングダイアリー（会員のみ）、保険証等
- ・担当者：大嶋俊壽
- ・その他：最少催行人数を 23 名とします。参加者が最少催行人数に達しない場合、および新型コロナウイルスの感染状況によっては再延期、中止の可能性もあります、ご承知おきください。
- ・バスウォークなので、予約が必要です、申込先、受け付け開始日等は五月の会報で連絡します。